

# 子どもたちは今

子どもたちの学習の場は、学校だけではありません。地域の子どもの会活動やサークル活動などでは、学校では学べないさまざまな経験をすることができ、子どもたちの良いところを伸ばしていくために、地域ではどのような取り組みがされているのでしょうか。



5.30 (ごみゼロ)の日の公園清掃活動に参加する子どもたち (5/30)

## ●異年齢の子ども会のつながり ～子ども会活動

子ども会は、同じ地域の異なる年齢の子どもたちが、遊びを中心に集団で活動するグループです。さまざまな年齢の子ども同士が接することで、年少の子どもに対する思いやりを身に付けたり、年長の子どものからいろいろなることを教えてもらったりすることが出来ます。また、団体行動を通じて、ルールを守り、周囲と協調する心が育ちます。

子ども会は、町内会などを単位に結成されています。現在区内に八九ある子ども会では、子どもたちの中からリーダーを育成して、運営しています。

栄東地区の芳賀大生君(一)と伏古本町地区の宮本佳奈さん(二)は現在、ジュニアリーダーになるための研修を受けています。それぞれが所属している子ども会の行事の時には、代表としてほかの子どもたちの意見をまとめる役をすることもありますが、そうではありません。

さまざまな年齢の子どもたちの意見をまとめるのは、大変なことですが、「話をしても、きちんと聞いてくれない人がある」と芳賀君。宮本さんも「みんなのばらばらの意見を一つにするのが大変」と話します。でも、



熱心に子ども会の活動にかかわっている芳賀大生君(左)と宮本佳奈さん(右)。二人とも、友だちがたくましくできて楽しい、と話してくれました

子ども会活動を通じて「知らない子どもでも、すぐに仲良くなれるようになった」違う学年の友だちができたし、みんなをまとめるのが上手になった」などと、良いこともたくさんあるそうです。また、みんなでスポーツをしたり、キャンプをしたりして、楽しい思い出もできました。

「これからは、ほかの地域の子ども会とも交流できるようにになると面白いと思います」「もっと子ども会に入る人が増えるといいですね」と話してくれた二人は、子ども会をより楽しいものにするために、積極的に活動しています。

## 地域の中の子ども会活動

子ども会では、野外活動やゲームのほかにも、施設見学などの学習や、地域の大人との交流など、さまざまな活動をしています。地域での公園清掃や共同募金にも参加しており、